

## 論 説

年末12月恒例の「ぜんせき」10大ニュースには選ばれなかつたが、2017年は原油高であった。しかもすぐ2年前の安い原油時代とは明らかに決別したかのような力学と動きを示した。

最高値を記録、年末までの半年間に、実に21ドル・15円の値上がりを示した。この原油高は、OPECの12月の減産合意を受け、2017年はOPEC加盟国も減産合意した。結果であり、さらに17年末に18ヶ月ぶりの減産継続で合意に達し、従来の減産合意への参入が免除されたいたナショナリティート。6月下旬に43ドル・40円でスタート、12月末に44ドル・46円の底値、

原油先高持続、採販賀こう

年末12月恒例の「ぜんせき」10大ニュースには選ばれなかつたが、2017年は原油高であった。しかもすぐ2年前の安い原油時代とは明らかに決別したかのような力学と動きを示した。

最高値を記録、年末までの半年間に、実に21ドル・15円の値上がりを示した。この原油高は、OPECの12月の減産合意を受け、2017年はOPEC加盟国も減産合意した。結果であり、さらに17年末に18ヶ月ぶりの減産継続で合意に達し、従来の減産合意への参入が免除されたいたナショナリティート。6月下旬に43ドル・40円でスタート、12月末に44ドル・46円の底値、

給過剰は百害ある。

サレム首都認定問題など、東洋の地政学的リスクの高まりも、この堅調な原油相場に支えられた。一方、SSSにおける需給調整

産油国の財政状況も石油収入の減少による影響が大きい。この2年で原油価格は、年初55ドル・40円でスタート、6月下旬に43ドル・31円で、12月末に44ドル・46円の底値、

また、サウジアラビアやイラクの内政事情も米国によるエル

の内政事情も米国によるエル





